

丹羽郡(大口町・扶桑町)・江南市のごみ処理施設

江南丹羽環境管理組合 環境美化センターで 火災



江南丹羽環境管理組合の職員 からお聞きしました

火災の原因は何ですか

4月14日午後2時30分ごろ、粗大ごみ処理施設で廃プラスチックを破碎処理する作業中に火災が発生し、施設に大きな損傷を与えました。出火原因の特定には至りませんでした。状況からみるとリチウムイオン電池を含む製品の混入が原因だとみられています。

今、施設はどうなっていますか

4月23日現在、粗大ごみ処理施設の運転を停止しています。粗大ごみ等の抑制へのご協力をお願いしているところですが、搬入された粗大ごみは屋外の仮置き場に保管しています。

併設の焼却施設は被害がなかったため、可燃ごみの受け入れは翌日から通常通りおこなっています。

今までも火災がありましたか

平成20年と平成24年にも消防車を要請するような火災がありました。

元通りになるのはいつ頃ですか

復旧は現時点(4月23日現在)で未定です。現在、破碎機の修理や復旧に向け業者に見積もりを依頼している段階です。

リチウムイオン電池の正しい処分に ご協力ください

近年、リチウムイオン電池などが原因とみられるごみ処理施設やごみ収集車の火災が全国各地で発生しています。当施設でも、電池の混入が見受けられます。リチウムイオン電池は、スマートフォンやノートパソコン、モバイルバッテリーに多く使用されていますが、おもちゃやハンディファン、電動歯ブラシなど、一見プラスチック製品に見えるものにも使用されています。これらを「その他プラスチック類」などに誤って捨ててしまうと、施設で火災事故が発生する恐れがあります。

取材にて

火災が発生した粗大ごみ処理施設を見学させていただきました。破碎物搬送コンベヤは熱により大きく変形し、施設内がすすで真っ黒になっていました。これらの修繕費用は大口町・扶桑町・江南市からの負担金と保険で賄われるとのこと。

私たち一人ひとりの正しいごみの分別と処分が火災の防止に直結します。電池の特性・危険性を理解し、適切な買い方、使い方、捨て方をより意識していくことが欠かせないと感じました。



ニッケル水素電池



ニカド電池



リチウムイオン電池

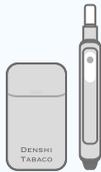


コイン電池

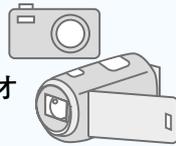


ボタン電池

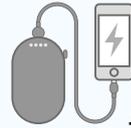
電子タバコ
加熱式タバコ



カメラ
ビデオ



モバイル
バッテリー



ノート
パソコン



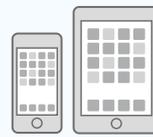
コードレス
掃除機



ワイヤレス
イヤホン



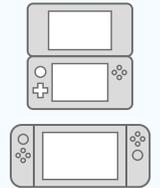
電気
カミソリ



スマートフォン
タブレット



携帯電話



携帯ゲーム機



おもちゃ



電動
歯ブラシ



ハンディ
ファン



ゲーム
コントローラー

リチウムイオン電池は
充電式の製品に広く
使用されています

電池の混入は危険です

ハンディファンやおもちゃなどの電池やバッテリーパックなどを誤って可燃ごみやその他プラスチック類へ混入してしまうと、ごみ処理施設やごみ収集車での火災、作業員の人命にかかわる事故となる可能性があります。小型家電等を出される際は、必ず電池を抜くなど分別の徹底をお願いします。



リチウムイオン電池をはじめとする小型充電式電池は身の回りの多くの電子機器で使用されています。安全処置の詳細は一般社団法人 JBRC ホームページの安全回収に掲載の「安全処置方法（事例）」を参照ください。 問合せ先 環境対策室 ☎95-1613



▲一般社団法人
JBRC ホームページ